

柏崎市商店街の環境価値評価

新潟産業大学経済学部 経済経営学科3年 蓮池陵、山根誠人
指導教員 郷香野子（新潟産業大学非常勤講師）

1. 研究背景と目的

新潟県柏崎市の駅前商店街はかつての賑わいが薄れ、活気が落ちている。商店街衰退の原因として、人口減少、少子高齢化や郊外への大規模小売店舗の出店が進んだこと、インターネットでの購買など消費者の行動が変化したことが挙げられる。一方で、商店街は買い物の拠点としてだけでなく、賑わいを印象付ける「地域の顔」としても大切な位置を占めており、地域全体として対策を立てる必要がある。

本研究では、商店街の価値に注目し、仮想評価法（CVM）を用いて算出を行った。視点として、研究1：商店街全体の存続価値、研究2：商店街の公共施設の維持から文化的価値を測定する。

2. 調査方法：仮想評価法（CVM）

仮想評価法（CVM）は、測定が困難となる自然環境の価値を算出するために考えられた調査方法で、ある自然環境を守るために支払っても構わない金額を尋ねることによって潜在的価値を評価する方法である。ひとつの例を紹介しよう。ある山林の生態系の価値を測定する場合、直接市場における価値のみとして判断し難い。この場合、以下のような仮想的な質問および算出方法によって生態系の価値を測定できるものである。

・質問：「ゴルフ場を開発するために森林が伐採されることが決まりました。この開発を中止して、生態系を守るためにあなたはいくら支払っても構わないと考えますか？」

・算出方法：環境の価値＝支払意志額×対象となる世帯（住民）人数×期間

3. 研究1：商店街の存続価値

商店街の存続価値として、空き店舗を改築して新たな施設とすることから代替して価値を測定する（設問参照）。調査は、新潟産業大学大学生に対し、インターネットで実施し回収数は31であった。CVMとして以下の設問を用いて尋ねた。

設問：商店街の空き家や施設を改築し、学習施設や子供の遊び場などにして再利用する予定があるとします。そこにかかる費用としてあなたはいくらのお寄付金を支払ってもかまわないと思いませんか。

1回の寄付金で（ ）円

調査の結果、空き店舗問題を解決するために、新潟産業大学の学生は一人当たり2,300円の協力金を支払う意思があるとわかった。これを柏崎市の人口8万人で換算すると、1億8400万円の価値があると算出された。

柏崎市の商店街の存続価値：1億8400万円

なお、追加の分析として商店街に満足度が高い人と低い人の支払い意思額を比較した。この結果、満足しているが平均3,670円、満足していない人が平均2,230円であり、満足度が高い人の方が多く支払う意思があるとわかった。さらに、住んでいる場所（商店街に近いかどうか）による違いも検証した結果、近くに住んでいる人は約2,150円、遠くに住んでいる人は約2,601円であり、両者に有意差はみられなかった。このことから、商店街に満足度が高めることでより多くの協力金を得られることが考えられた。

4. 研究2：商店街の文化的価値

研究2では、柏崎市商店街および周辺の公共文化施設を維持への支払い意図から文化的価値を算出する。文化的価値は商店街における祭りや行事、地域の慣習などの保全価値として算出することも可能だが、ここでは公共文化施設の維持から代用した。調査は、新潟産業大学大学生に対し、インターネットで実施し回収数は43であった。CVMとして以下の設問を用いて尋ねた。

設問：あなたは柏崎市文化会館アルフォーレ*が存続するために月にいくらの税金を支払うことができますか？ 月に（ ）円

***同様に、柏崎市立図書館ソフィアセンター、柏崎市立博物館を尋ねた。**

調査の結果、新潟産業大学の学生はアルフォーレに一人当たり820円/月、ソフィアセンターに1,132円/月、柏崎市博物館に706円/月の税金を支払う意思があるとわかった。これを柏崎市の人口8万人で換算すると、商店街の文化的価値として、アルフォーレ6,560万円、ソフィアセンター9,056万円、柏崎市立博物館5,648万円であると算出された。

柏崎市の商店街（公共文化施設）の文化的価値

アルフォーレ：6,560万円、ソフィアセンター：9,056万円、柏崎市博物館：5,648万円

追加分析として、柏崎市の公共文化施設の評価項目として7つの効果を尋ね（効果あり/なし/どちらでもない）、効果があると回答した人と効果がないと回答した人の、柏崎市の文化・公共施設（アルフォーレ、ソフィアセンター、柏崎市立博物館）への支払い意思額を比較した（表1）。この結果を見ると、柏崎市の文化・公共施設の効果として、2. 利便性を向上させる効果、3. 市民の活動を活発化させる効果、6. 満足度を高める効果、7. 文化・芸術水準を向上させる効果が高く評価されており、概ねこれらの効果があると回答した人ほど税金を多く払う意思があることが確認された。以上から、文化的価値自体を認識することで支払い意思額も増加することが明らかにされた。

表1 柏崎市の公共文化施設の効果別の支払い意思額

(どちらでもない、の回答は割愛)		人	%	支払い意思額(平均/月)		
				アルフォーレ	ソフィアセンター	柏崎市立博物館
1. 地場の産業が発展する効果	効果あり	17	39.5%	824円	850円	764円
	効果なし	13	30.2%	1192円	2057円	1079円
2. 利便性を向上させる効果	効果あり	31	72.1%	1016円	1517円	954円
	効果なし	5	11.6%	210円	250円	106円
3. 市民の活動を活発化させる効果	効果あり	33	76.7%	984円	1333円	863円
	効果なし	2	4.7%	525円	625円	265円
4. 町の経済を活性化させる効果	効果あり	25	58.1%	1060円	1558円	1012円
	効果なし	8	18.6%	443円	718円	278円
5. 街のイメージをアップさせる効果	効果あり	25	58.1%	1120円	1582円	1056円
	効果なし	9	20.9%	272円	616円	114円
6. 余暇が充実し、満足度を高める効果	効果あり	30	69.8%	1097円	1548円	966円
	効果なし	6	14.0%	191円	208円	88円
7. 文化・芸術水準を向上させる効果	効果あり	30	69.8%	687円	968円	620円
	効果なし	6	14.0%	1841円	3041円	1750円

補足) 本報告書では、プレ調査という位置付けで行っているため、報告会ではこれをもとに地域住民に行った調査結果を報告する可能性もある。